

感染グループ

所属メンバー

- ・石黒 信久 (北大病院感染制御部 診療教授、昭和 59 年卒)
- ・小関 直子 (大学院生、平成 18 年卒)

外来患者数 60 人 (HBV, HCV キャリアーのフォローが中心)

その他の特色ある診療内容

石黒は北大病院の感染制御部部長として院内感染対策の業務に当たると同時に、各診療科からの感染症の診断と治療の相談を引き受けている。

研究内容

- ・ヒトメタニューモウイルスの臨床的・基礎的研究
- ・ヒトボカウイルスの臨床的・基礎的研究
- ・ポリオーマウイルスの臨床的・基礎的研究
- ・抗インフルエンザ薬の臨床効果に関する研究
- ・マイコプラズマ感染症に関する研究

競合的外部資金

- ・科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「ヒトボカウイルス感染症の疾患スペクトラム及び病態の解明に関する研究」(研究代表者: 石黒信久)
- ・厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業) 「自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究」(研究分担者: 石黒信久)

論文・著書など

1. Koseki N, Kaiho K, Kikuta H, Oba K, Togashi T, Ariga T and Ishiguro N:
Comparison of the clinical effectiveness of zanamivir and laninamivir octanoate for children with influenza A(H3N2) and B in the 2011-2012 season. Influenza and other respiratory viruses 8(2): 151-158, 2014

2. 石黒信久：【話題】 増加するマイコプラズマ肺炎. 呼吸器内科 24(1)：82-87, 2013
3. 石黒信久：インフルエンザ最新情報：2013/14 シーズンに向けて. 内科医誌 149: 6-8, 2014
4. ヒトボカウイルス感染症. 「感染症症候群（上）病原体別感染症編」日本臨床社, 2013
5. ヒトメタニューモウイルス感染症. 「感染症症候群（上）病原体別感染症編」日本臨床社, 2013

学会発表

1. 小関直子、石黒信久、有賀 正、菊田英明、渡辺 徹、富樫武弘：小児インフルエンザ患者におけるオセルタミビルと吸入薬ザナミビルの解熱効果の違いに関する検討. 第 45 回日本小児感染症学会学術集会、札幌市、2013/10/26-27
2. 石黒信久：シンポジウム 31 免疫不全者における感染管理 多剤耐性菌による感染症事例を通して. 第 29 回日本環境感染学会総会・学術集会、東京都、2014/10/2/15

講演

1. 石黒信久：教育講演 ICT活動と抗菌薬適正使用の推進. 第 60 回北海道薬学大会、札幌市、2013/5/19
2. 石黒信久：腸管出血性大腸菌感染症の病態と治療について～HUS を中心として～. 第 50 回補体シンポジウム サテライトシンポジウム、旭川市、2013/7/4
3. 石黒信久：ICT 活動からみた耐性菌感染症 ～薬剤師と医師とのコラボレーション～. 函館薬剤師会 第 284 回例会・学術講演会、函館市、2013/7/10
4. 石黒信久：リフレッシュャーコース 8 ペインクリニック外来で遭遇する感染症とその対応について. 日本ペインクリニック学会第 47 回大会、大宮市、2013/7/13
5. 石黒信久：セッション I 教育・研究とバイオセーフティ 医学教育（含、病院実習）とバイオセーフティ. 第 13 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会、札幌市、2013/9/26
6. 石黒信久：Minilecture 溶血性尿毒症症候群～病原大腸菌の基本. 第 23 回北海道小児腎臓病研究会、札幌市、2013/10/19
7. 石黒信久：インフルエンザ最新情報：2013/2014 シーズンに向けて. 福岡市内科医会 学術講演会、福岡市、2013/11/9

学会活動（委員会委員など）

日本環境感染学会 評議員（石黒信久）

社会貢献

札幌感染管理研究会 代表幹事（石黒信久）